

山田地区の下水道本管使用は

問 震災前に敷設した山田地区の下水道本管は、使用できるか。

上下水道課 震災後も水がスムーズに流れていたため大丈夫と判断したが、テレビカメラを使用して管の亀裂などを詳細に調査する予定である。

国道45号や土地区画整理区域は、復興事業との兼ね合いにより、敷設のやり直しになると思う。

下水道処理場供用開始時期は

問 間木戸地区下水道終末処理場の供用の見通しは。

上下水道課 28年4月の供用開始を計画しており、織笠地区の高台移転時期には間に合わないと思われる。仮設の浄化槽を設置して供用開始まで対応し、その後下水道に接続するよう考えている。

漁業者への支援策は

問 漁業者に対するソフト面の補助が喫緊の課題だと

思うが。

水産商工課

既存の補助対象とならない道具等に対し、上限20万円の補助金を支給しているが、今後は倉庫等も必要となるため、上限を設けて補助をしている。漁協等から状況を聞き、財政担当と相談しながら検討したい。



小谷鳥地区

小谷鳥の自然保護は

問 復興事業を進めるにあたり、小谷鳥地区の希少植物保護の方針は。

農林課 現地は昭和30年代に基盤整備を実施した。

県によると、希少野生動物調査委員会に諮り、既存の池周辺に、水路を活用した希少植物の保護区域を設けるとのことである。地

権者も了承済みである。

がれき置き場等の借地料は

問 がれき置き場や仮設住宅等の借地料は、不動産鑑定評価結果に基づいて決定するののか。

用地課 固定資産の平方メートルあたりの評価額に100分の5を掛けた額が平方メートル単価である。平方メートル単価と消費税を掛けた額が、年間の借地料である。



がれき置き場

国土調査の進行遅い

問 国土調査開始から30年経過したが、完了割合は34%程度である。進行が遅いのは。

用地課 従来は職員3人と作業員数人で作業をしてきた。25年度は国からの補助金が増額され、業者への委託もして、従来の1・5倍程度進行した。今後も業者に委託し、事業を進めたい。

関口川のしゅんせつは

問 関口川のしゅんせつの進行状況は。

建設課 関口川は二級河川であり、維持管理に努める旨の回答を県から受けている。県は優先順位を決めて整備をしていると思うが、現場を確認し、再度要望したい。

新田川の安全対策は

問 新田川は降雨時に溢れやすいが、安全対策は。

建設課 新田川は津波の被害を免れており、復旧・復興事業での整備はできないが、維持管理の予算内で対応したい。

海水浴場の再開は

問 荒神海水浴場の利用再開予定は。

水産商工課 環境省に対して整備を要望しており、26年の利用再開を目指してトイレ、管理棟等の復旧をしたいと回答を受けている。



早期復旧が望まれる荒神海水浴場

学校関係施設への備蓄状況は

問 学校関係施設への災害非常用備蓄の状況は。

総務課 非常食クラッカー6300食、非常食カレーライス千食、500ミリリットルペットボトル飲料水6672本を備蓄している。

25年度は、日本赤十字社の復興事業で、船越小学校を除く各小学校に防災倉庫を整備する。倉庫には、発電電機が簡易トイレを配備する予定である。